

(様式第 10)

信大病総第 7082 号
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 信州大学長 濱田 州博 (印)

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号	電話(0263) 35-4600
--------------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
1 呼吸器内科	② 消化器内科
5 神経内科	③ 循環器内科
9 感染症内科	④ 腎臓内科
10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	7 内分泌内科
	8 代謝内科
	11 リウマチ科
診療実績	
呼吸器・感染症・アレルギー内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 ③乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 ⑦内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科 2 形成外科 3 リハビリテーション科 4 病理診断科

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	0床	0床	0床	667床	707床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	293 人	205.8人	498.8人	看 護 補 助 者	35人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	8 人	10.3人	18.3人	理 学 療 法 士	17人	臨床検査技師	65人
薬 剤 師	47 人	0.0人	47.0人	作 業 療 法 士	11人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0 人	0.0人	0.0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	68 人	0.7人	68.7人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	671 人	7.4人	678.4人	臨 床 工 学 士	12人	医療社会事業従事者	5人
准 看 護 師	2 人	0.0人	2.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	52人
歯 科 衛 生 士	5 人	0.0人	5.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	186人
管理栄養士	6 人	0.7人	6.7人	診療放射線技師	38人	そ の 他 の 職 員	23人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	70 人	眼 科 専 門 医	14 人
外 科 専 門 医	49 人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	16 人
精 神 科 専 門 医	22 人	放 射 線 科 専 門 医	37 人
小 児 科 専 門 医	37 人	脳 神 経 外 科 専 門 医	15 人
皮 膚 科 専 門 医	16 人	整 形 外 科 専 門 医	26 人
泌 尿 器 科 専 門 医	16 人	麻 酔 科 専 門 医	22 人
産 婦 人 科 専 門 医	20 人	救 急 科 専 門 医	20 人
		合 計	380 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (本田 孝行) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

所属部門である臨床検査部内に設置の精度管理委員会において、安全管理に関わる業務を担当。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	546.6 人	10.3 人	556.8 人
1日当たり平均外来患者数	1440.4人	68.3 人	1508.7 人
1日当たり平均調剤数	888.4		剤
必要医師数			141 人
必要歯科医師数			2 人
必要薬剤師数			12 人
必要（准）看護師数			329 人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	371 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	10 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 357m ² [移動式の場合] 台数 6台		病床数	28 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 116m ² [共用室の場合] 共用する室名 服薬指導室					
化学検査室	508 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置			
細菌検査室	128 m ²	〃	(主な設備) Anoxomat Mark II (細菌診断装置)			
病理検査室	232 m ²	〃	(主な設備) 凍結組織切片作製装置			
病理解剖室	145 m ²	〃	(主な設備) 写真撮影器具			
研究室	241 m ²	〃	(主な設備) なし			
講義室	949 m ²	〃	室数	10 室	収容定員	404 人
図書室	88 m ²	〃	室数	1 室	蔵書数	6,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	79.0%	逆紹介率	60.3%
算出根拠	A: 紹介患者の数	12200人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10335人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1342人		
	D: 初診の患者の数	17150人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人財団 慈泉会相澤病院 院長		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
林 一樹	林一樹法律事務所 弁護士		法律に関する識見を有 する者	無	1
池田 秀敏	信州大学経法学部 教授		法律に関する識見を有 する者	無	1
根本 三代子	-		医療を受ける者	無	2
田中 榮司	信州大学医学部長		医療に関する学識経験 者	有	1

※委員会未開催につき、委員長（利害関係の無い委員から、互選により選任する）は未定

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院のホームページ上で公開している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	全身性ALアミロイドーシスに対する化学療法(プロテオソームインヒビターやIMiDsなどの新規薬剤を用いたレジメンを含む)	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 全身性ALアミロイドーシスの原因である骨髄中の異常形質細胞を標的とした化学療法であり、2001年に本邦においては当科で先駆的に開始され、以後も継続的に行い、本邦をリードしている。			
医療技術名	心筋症に対する補助人工心臓	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 心筋症における末期心不全において補助人工心臓を用いて補助を行う。			
医療技術名	ロボット支援下胸腺摘除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ロボット支援(ダヴィンチ)を用いた前縦隔腫瘍(重症筋無力症を含む)に対する胸腺摘除術			
医療技術名	脳幹部病変の外科治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 頭蓋底外科技術を用い、脳幹病変の摘出行う			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	73人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術			
医療技術名	バルベルト緑内障インプラント手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 難治性緑内障に対する眼圧降下手術			
医療技術名	アームド緑内障インプラント手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 難治性緑内障に対する眼圧降下手術			

医療技術名	Electro Acoustic Stimulation	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 低音部の残存聴力を活用可能な新しいコンセプトの人工内耳(残存聴力活用型人工内耳)			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	293人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術、脊髄・脊椎手術では、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	反回神経機能測定	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 甲状腺手術時には、手術操作により反回神経が損傷し、声帯麻痺による嗄声や呼吸困難が生じることがある。術中の反回神経損傷の早期検出のために、大脳皮質運動野を刺激し、声帯の運動を評価する。			
医療技術名	脊髄刺激電極	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 通常の治療にて対応が難しい、難治性の腰下肢痛、上肢痛に対して施行する。脊髄硬膜外腔に入れた電極から、脊髄神経を電気刺激することで、除痛を図る方法である。			
医療技術名	Racz カテーテル硬膜外神経根形成術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 通常の治療で対応困難な神経根症に対して施行する。透視下に、癒着した神経近傍にカテーテルを進め、薬液を集中投与することにより、化学・機械的に癒着剥離を行う方法である。			
医療技術名	血管奇形に対する硬化療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 リンパ管奇形のみならず、動静脈奇形、静脈奇形にも放射線科と連携して硬化療法を施行している。			
医療技術名	重症呼吸不全に対する体外式肺補助(ECMO)法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症呼吸不全の中には人工呼吸で管理できない症例がある。人工肺を用い体外循環にて呼吸管理を行う。			
医療技術名	心停止に対する体外式心肺補助(ECPR)法	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 心停止患者で通常の心肺蘇生法にて蘇生不可能な症例に対して人工心肺装置を用い体外循環にて循環及び呼吸管理を行う。			
医療技術名	低酸素性重症呼吸不全に対する一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 低酸素性重症呼吸不全に微量の一酸化窒素(NO)吸入を行う方法である。NO濃度は1~20ppm程度である。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に膵嚢胞を穿刺し、ドレナージチューブを留置する。			
医療技術名	内視鏡的膵嚢胞壊死組織除去術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 経胃膵嚢胞ドレナージチューブ刺入部を拡張し、同部より膵嚢胞内へ内視鏡を挿入して、膵嚢胞内の壊死物質を除去する。			

医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	81人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	結合織疾患の次世代シーケンス解析	取扱患者数	72人
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用い、結合織疾患(マルファン症候群, エーラーズ・ダンロス症候群等)患者を対象に、54種の遺伝子を解析している。			
医療技術名	知的障害の次世代シーケンス解析	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、知的障害関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスマプレッシン点鼻療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 D4ST欠損を伴うエーラーズダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスマプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。			
医療技術名	自閉症の次世代シーケンス解析	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 自閉症患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、自閉症関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	樹状細胞ワクチン療法	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 先進医療Aの技術で「樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法」に準じた治療			
医療技術名	コレステロール塞栓症に対するLDL吸着療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 コレステロール塞栓症による末梢循環障害の改善を目的とした血液浄化療法である。 本院では当該治療について先進医療の承認を受けている。			
医療技術名	難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 癌腹膜播種や肝硬変などに伴う難治性腹水症に対し、当院では独自の手法による腹水濾過濃縮再静注法(DC-CART)を行っている。この方法により腹水の全量排液、効率の良い蛋白回収率、低い合併症を実現している。			
医療技術名	難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 難治性自己免疫疾患に対し、疾患特性や患者の全身状態を考慮し様々な種類の血漿交換(単純血漿交換、二重膜濾過血漿交換、血漿吸着療法)を選択し行っている。			
医療技術名	重症肝不全に対する大量置換血液ろ過透析療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症肝不全に対する体液異常の是正を目的とした大量置換血液ろ過透析療法を行っている。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する顆粒球吸着療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 炎症性腸疾患に対して活性化白血球を除去する顆粒球吸着療法を行っている。			

医療技術名	集中治療における持続血液濾過透析とエンドトキシン吸着療法	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 集中治療室における循環動態の不安定な患者に対して持続血液濾過透析やエンドトキシン吸着療法を行っている。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	0
2	筋萎縮性側索硬化症	23	57	特発性拡張型心筋症	0
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	1
4	原発性側索硬化症	5	59	拘束型心筋症	10
5	進行性核上性麻痺	0	60	再生不良性貧血	0
6	パーキンソン病	4	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	0	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	79
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	2
9	神経有棘赤血球症	37	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	37	65	原発性免疫不全症候群	0
11	重症筋無力症	43	66	IgA腎症	0
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	6
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	0	68	黄色靱帯骨化症	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	0	69	後縦靱帯骨化症	5
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	21
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	0
17	多系統萎縮症	0	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	0	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	1
21	ミトコンドリア病	0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	0	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	159
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	0	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	35
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	0
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	14
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1
34	神経線維腫症	0	89	リンパ脈管筋腫症	12
35	天疱瘡	0	90	網膜色素変性症	1
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	92	特発性門脈圧亢進症	17
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	0
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	0	95	自己免疫性肝炎	19
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	0
42	結節性多発動脈炎	1	97	潰瘍性大腸炎	25
43	顕微鏡的多発血管炎	0	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	15
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	5
46	悪性関節リウマチ	82	101	腸管神経節細胞減少症	6
47	パージャー病	1	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	9
49	全身性エリテマトーデス	0	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	0	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	59	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	0	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	0	108	TNF受容体関連周期性症候群	224
54	成人スチル病	0	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	13
55	再発性多発軟骨炎	32	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	2	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	19
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	15
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	18
120	遺伝性ジストニア	90	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	70	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	49	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	12
132	先天性核上性球麻痺	11	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	17
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	54
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	3	194	ソトス症候群	16
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	51
147	早期ミオクロニー脳症	73	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	7
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	1
151	ラスムッセン脳炎	55	201	アンジェルマン症候群	18
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	4
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	27
155	ランドウ・クレフナー症候群	19	205	脆弱X症候群関連疾患	62
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	39	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	89	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	1
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	1
217	エプスタイン病	47	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	14	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	271	強直性脊椎炎	0
224	紫斑病性腎炎	19	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	4
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	5	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	59	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	3	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	7	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	80	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	1	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	45	294	先天性横隔膜ヘルニア	9
247	イソ吉草酸血症	46	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	32	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	1	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・地域歯科診療支援病院入院加算
・歯科外来診療環境体制加算	・救命救急入院料2、3
・歯科診療特別対応連携加算	・特定集中治療室管理料3
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1、精神病棟13対1)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・超急性期脳卒中加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・診療録管理体制加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・小児入院医療管理料4
・急性期看護補助体制加算(25対1、看護補助者5割未満)	・
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1、2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算含む)	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・データ提出加算2(200床以上)	・
・退院支援加算2	・
・精神疾患診療体制加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料1、2、3	・人工膵臓検査
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後、造血幹細胞移植後)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・院内トリアージ実施料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・コンタクトレンズ検査料
・ニコチン依存症管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算1
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・画像診断管理加算2
・医療機器安全管理料1	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・医療機器安全管理料2	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・外傷全身CT加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝学的検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

・がん患者リハビリテーション料	・磁気ナビゲーション加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・精神科作業療法	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・医療保護入院等診療料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・補助人工心臓
・人工臓器療法	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・CAD/CAM冠	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・歯科技工加算	・体外衝撃波胆石破砕術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・生体部分肝移植術
・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・同種死体肝移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・体外衝撃波膵石破砕術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体腎移植術
・網膜再建術	・生体腎移植術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・膀胱水圧拡張術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

・輸血管理料 I
・貯血式自己血輸血管理体制加算
・自己生体組織接着剤作成術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(I)
・麻酔管理料(II)
・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算
・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算
・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療加算
・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・保険医療機関間の連携による病理診断
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・病理診断管理加算
・クラウン・ブリッジ維持管理料
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回の検討会…7件 2ヶ月に1回の検討会…2件
剖検の状況	剖検症例数 28例 / 剖検率 9.1 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
CNTを応用した高機能生体材料創製のためのCNT・生体界面技術の構築と安全性評価	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・ 生体医工学部門	2,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
バイオインフォマティクスを用いたNav1.7阻害剤の創薬による新たな鎮痛戦略	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	7,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子解析に基づいた難聴発症メカニズムの解明および個別化医療システムの構築	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	9,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
移植免疫寛容霊長類モデルにおけるiPS細胞を用いた心筋再生療法の開発	柴 祐司	医学部附属病院 循環器内科	3,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規ペプチドを用いた胆管癌治療法の開発	宮川 眞一	医学部 外科学第一	1,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
スルホムチンを介する新規胃癌発生メカニズムの解明	中山 淳	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 分子病理学教室	4,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
DMDエクソン46-55欠失iPS細胞を用いたエクソン45スキップ治療の検討	中村 昭則	医学部 内科学第三	3,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ゲノム修復とiPS細胞技術を併用した先天性食細胞異常症に対する遺伝子治療法の開発	小池 健一	医学部 小児医学	5,800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌に対する抗サイクリンA分子標的薬開発:新たに同定した化合物の改良の試み	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	4,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
続発性不妊、分娩後の月経再来、次子妊娠希望の背景因子に関する研究	金井 誠	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
タバコ抽出液によるラット肺気腫モデルにおける薬剤の抑制効果の検討	花岡 正幸	医学部 内科学第一	0	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
家族内発症頻発地域における筋萎縮性側索硬化症の網羅的遺伝子解析と臨床病理学的検討	日根野 晃代	医学部附属病院 難病診療センター (内科(3))	0	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前立腺癌の神経周囲浸潤におけるジストログリカン糖鎖の発現意義	下条 久志	医学部 病理組織学	900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
国際認証を踏まえたカリキュラム改正が学生の学力や態度に与える影響	森 淳一郎	医学部 研究医養成担当 (医学教育研修センター)	500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
質量分析によるヒト脂質プロファイル検査法の構築と臨床応用	日高 宏哉	医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学	900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝硬変を引き起こすフィブリノゲン低下症の鑑別法の開発と分子生物学的発症機序解明	奥村 伸生	医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮頸部固有上皮型腺癌、胃腸型腺癌、前癌病変の病理診断基準と検査診断法の開発	太田 浩良	医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
電子カルテ閲覧行為の業務関連度を示す定量的指標の作成	濱野 英明	医学部附属病院 医療情報部	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

手術部ビッグデータの解析による合併症予防と医療費削減のレジームの構築	浦田 浩一	医学部附属病院 手術部(外科(1))	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
全エクソンシーケンスによる自己免疫性肝疾患の原因となる新規遺伝子の同定	梅村 武司	医学部 内科学第二	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規発症した高度左室駆出率低下患者に対する β 遮断薬治療後の反応の予測	小山 潤	医学部 内科学第五	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脂肪組織由来幹細胞を用いた新規血管新生療法の開発	池田 宇一	医学部 内科学第五	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
左室駆出率が保持された心不全患者の予後予測指標としての左心房機能の役割	元木 博彦	医学部附属病院 循環器内科	300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロアレイおよび次世代シーケンスを用いた知的障害原因遺伝子の探索	高野 亨子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性急性骨髄性白血病に対するFLT3を標的とした遺伝子改変T細胞療法の開発	中沢 洋三	医学部 小児医学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
若年性骨髄単球性白血病の治療層別化を目指した白血病性幹細胞の網羅的遺伝子解析	坂下 一夫	医学部附属病院 小児科	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児期の慢性消化管炎症から消化器癌への進展に関与するDNAメチル化異常の解析	杉山 佳子(中山佳子)	医学部附属病院 小児科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
表皮再生におけるNotchシグナルの変化の解析と治療への応用	奥山 隆平	医学部 皮膚科学	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血液循環腫瘍DNAを用いたメラノーマ患者の遺伝子解析	芦田 敦子	医学部 皮膚科学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Nrf2経路を活性化した凍結保存膵島の移植への利用法の確立	増田 雄一	医学部附属病院 卒後臨床研修センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳血管攣縮に対する予防薬・治療薬の可能性	諸 真人	医学部附属病院 脳神経外科	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
思春期特発性側弯症患者に対する後方矯正固定術に必要なスクリュウの数の最適化	高橋 淳	医学部 運動機能学	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
開腹術後痛が遷延化する機序と鎮痛法に関する研究	田中 聡	医学部 麻酔蘇生学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自家骨髄幹細胞・脂肪組織由来幹細胞を利用した細胞シートを用いた下部尿路再生療法	石塚 修	医学部 泌尿器科学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
KCNQ4遺伝子変異による高音障害・血形難聴発症メカニズムに関する研究	内藤 武彦	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
上眼瞼ミューラー筋の構造的特徴と刺激伝達機能に関する組織化学的研究	杠 俊介	医学部 形成再建外科学	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
腱膜性眼瞼下垂の手術で三叉神経固有感覚の誘発の減少による睡眠障害治療効果の研究	松尾 清	医学部 形成再建外科学	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞におけるグリコーゲン代謝の解明	栗田 浩	医学部 歯科口腔外科学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
微小重力環境が内耳末梢前庭器に及ぼす影響に関する研究	工 穰	医学部 耳鼻咽喉科学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の睡眠の質に関する研究	藤本 圭作	医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
嫌気性菌ベクターを用いた虚血性心疾患に対する血管新生療法薬剤の開発	和田 有子	医学部附属病院 外科(2)	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
RNA-FISH法による1細胞発現解析とエピジェネティックメカニズムに関する研究	涌井 敬子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
治験実施のための教育からの視点に立った研究者教育の検討	松本 和彦	医学部附属病院 臨床研究支援センター	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
IgG4関連呼吸器疾患のBAL液中各種メディエーターの解析	山本 洋	医学部 内科学第一	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ATTRアミロイドーシスの早期診断・治療最適化を可能にするバイオマーカーの開発	関島 良樹	医学部 内科学第三	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アグレッシブNK細胞白血病の発症関連遺伝子異常の同定と新規治療法開発	石田 文宏	医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌診断における高画質長時間分解能ダイナミックMRIの有用性に関する研究	藤永 康成	医学部 画像医学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
組織幹細胞を用いた胆汁ドレナージシステムを有する肝臓組織構築と術後肝不全への応用	酒井 宏司	医学部附属病院 外科(1)	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
外耳道内圧脈波による非侵襲的頭蓋内圧測定法に関する研究	降旗 建治	医学部 脳神経外科学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨に剛性が近く、かつ優れた骨形成能をもつ頸椎疾患治療用インプラント器材の開発	伊東 清志	医学部附属病院 脳神経外科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
術中フリーラン筋電図定量評価と術者モニタリング間インターフェイスの確立	後藤 哲哉	医学部附属病院 脳神経外科	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
閉経モデルマウスを用いた狭窄性腱鞘炎の病態解析	内山 茂晴	医学部 運動機能学	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性側弯症発症におけるAGBL5遺伝子の作用機序解析	中村 幸男	医学部附属病院 整形外科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
腱細胞培養系を用いた新規マイクロRNAの同定と腱細胞分化メカニズムの解明	林 正徳	医学部 運動機能学	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
局所麻酔薬の神経毒性のメカニズム:ナノ磁性体を用いた探索研究	石田 高志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性排尿障害に対する骨髄由来細胞積層型スフェロイドシートによる機能的膀胱の再生	今村 哲也	医学部 泌尿器科学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胎児肺成熟新規診断マーカーとしての母体血中Neuregulin-1の有用性の研究	大平 哲史	医学部附属病院 産科婦人科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
婦人科悪性腫瘍に対する新規治療法の開発:子宮間葉系腫瘍の生物学的応答性の解析	林 琢磨	医学部 産科婦人科学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜症癌化過程におけるサイトカインとミスマッチ修復異常の関与に関する研究	岡 賢二	医学部附属病院 産科婦人科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌におけるSIRT1機能とSIRT1阻害薬の効果の検討	浅香 亮一	医学部附属病院 分娩部	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

分葉状子宮頸管腺過形成(LEGH)の自然史と悪性化に関わる因子の探索	高津 亜希子	医学部附属病院 産科婦人科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子コピー数変化解析による新規難聴発症メカニズムに関する研究	茂木 英明	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
IgG4関連ミクリツ病の眼症状の検討とウイルス検索による原因究明	黒川 徹	医学部附属病院 眼科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
近赤外線分光法を用いた新生児の哺乳時における前頭葉酸素代謝と成長発達に関する解析	市川 元基	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児筋疾患を対象とした新しい6分間歩行試験とピッチアップ法の再現性及び感度の評価	西澤 公美	医学部保健学科 理学療法学専攻 基礎理学療法学	2,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト胎児肝における薬物代謝酵素の糖質コルチコイド応答性の差異に関わる機序の解明	大森 栄	医学部附属病院 薬剤部	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規の胃分化型癌自然発症マウスモデルを用いたピロリ菌感染による胃癌の進展	川久保 雅友	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 分子病理学教室	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ブレガバリンの注腸投与の効果	間宮 敬子	医学部附属病院 信州がんセンター	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
第3群肺高血圧症動物モデルの作製と薬剤による肺高血圧症抑制効果の検討	花岡 正幸	医学部 内科学第一	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
インスリン分泌機構における3つの新規分子基盤の解明	駒津 光久	医学部 内科学第四	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性サイトメガロウイルス感染症における免疫機構と大脳白質病変の病態の解明	稲葉 雄二	医学部 小児医学	2,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児脳腫瘍特異的細胞傷害性T細胞にキメラ抗原受容体を応用した新規治療戦略の確立	柳沢 龍	医学部附属病院 輸血部(小児科)	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
MDA5、抗MDA5抗体の機能解析による重症間質性肺障害発症機構の解明	小林 法元	医学部附属病院 小児科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
悪性黒色腫の循環腫瘍細胞を用いた個別化医療の開発と耐性機序の解明に関する研究	木庭 幸子	医学部附属病院 皮膚科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマ患者の血液循環腫瘍由来RNAを用いた病勢モニタリング法の確立	宇原 久	医学部 皮膚科学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト膵島移植における分離後膵島のβ細胞評価	三田 篤義	医学部附属病院 集中治療部(外科(1))	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
乳管上皮細胞の癌化のマーカーとしての5hmCの解析	伊藤 勅子	医学部附属病院 外科(2)	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の早期脳障害における脳細動脈の機能障害の解明と改善	村田 貴弘	医学部附属病院 脳神経外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性橈尺骨癒合症の原因遺伝子同定とその機能解析	加藤 博之	医学部 運動機能学	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨髄および脂肪由来細胞を用いた尿道括約筋様構造体による機能的尿道括約筋の再生	中沢 昌樹	医学部附属病院 泌尿器科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アクアポリンの尿路上皮発現と病態別尿路上皮の形態的機能的変化の解析	永井 崇	医学部附属病院 泌尿器科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

遺伝子解析に基づいた間質性膀胱炎に対する新規治療法の開発	小川 輝之	医学部 泌尿器科学	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝学的所見に基づくANSD、中耳奇形の新分類の確立	野口 佳裕	医学部 人工聴覚器学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非侵襲的糖化終末産物計測による糖尿病合併症に対するリスク評価法の開発	村田 敏規	医学部 眼科学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
心電図伝送による心臓救急患者の救命救急法の開発	今村 浩	医学部 救急集中治療医学	2,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
地域連携に基づく妊娠から育児期の切れ目ない父親への子育て支援教育プログラムの開発	芳賀 亜紀子	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
電動アシストエルゴメーターのペダルスピードによる筋電図解析と透析患者の自覚症状	三好 圭	医学部保健学科 理学療法学専攻 応用理学療法学	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
MRSAの地域内伝播様式の解析と早期封じ込め対策の確立	松本 剛	医学部附属病院 感染制御室 (臨床検査部)	300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
MRSAの空気伝播による院内感染の検討	金井 信一郎	医学部附属病院 感染制御室	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性不整脈に対するiPS細胞を用いたバイオリジカルデバイスの開発	木村 和広	医学部附属病院 輸血部(循環器内科)	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小骨固定・骨移植・骨再生・エンテシス再建のためのチタンペーパーの開発	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・ 生体医工学部門	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
麻酔は術後がん再発転移に影響するか? : 末梢血腫瘍DNAとバイオマーカーによる検討	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胎盤の老化機構に関する研究	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
簡易的歩行分析システムを用いた高齢者の転倒スクリーニングシステムの構築	木村 貞治	医学部保健学科 理学療法学専攻 基礎理学療法学	2,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
作家・北杜夫の病跡学研究	高橋 徹	医学部附属病院 精神科	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオミクスを用いた腺粘液糖鎖による胃癌発生制御機構の解明	中山 淳	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 分子病理学教室	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨粗鬆症患者における個人差研究のためのリプログラミング因子の探索	滝沢 崇	医学部附属病院 整形外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
知覚神経系と免疫系のクロストーク—免疫細胞に発現する痛み関連分子の役割	杉山 由紀	医学部 麻酔蘇生学	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児難病入院患者の病室外との映像コミュニケーションによる精神的支援と家族の支援	吉川 健太郎	医学部附属病院 小児科	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
マクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子異常による若年性認知症の病態解明	福島 和広	医学部 内科学第三	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
近赤外線を用いた吻合血管の攣縮予防に関する研究	安永 能周	医学部 形成再建外科学	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
閉塞性動脈硬化症に対する運動療法が酸化ストレスに及ぼす影響	山崎 佐枝子	医学部附属病院 循環器内科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

うつ病休職者に対するリワークプログラムの開発	田中 佐千恵(福島佐千恵)	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
本邦での家族性地中海熱患者の臨床像と原因遺伝子(MEFV)変異の関連	岸田 大	医学部附属病院 内科(3)	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血管障害後の新生内膜肥厚形成におけるマクロファージ由来のヒアルロン酸の重要性	嘉嶋 勇一郎	医学部附属病院 救急科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児脳腫瘍に対するGD2特異的キメラ抗原受容体を用いた遺伝子改変T細胞療法の開発	平林 耕一	医学部 小児医学	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
侵襲性接合菌症に対する特異的養子免疫療法の開発	重村 倫成	医学部 小児医学	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨芽細胞および骨肉腫における、非古典経路のWnt5aの役割の解明	岡本 正則	医学部附属病院 リハビリテーション部 (整形外科)	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ANSIに対する遺伝子解析とその臨床像に関する検討	岩佐 陽一郎	医学部 耳鼻咽喉科学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
人工内耳装用者の遺伝的背景に関する研究	宮川 麻衣子	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
老人性難聴発症に関与するSNPsの探索に関する研究	鈴木 伸嘉	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
NTGマウスを用いた網膜保護、再生に関する生物学的検証	中村 朋子 (柳平朋子)	医学部 眼科学	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
正期産新生児に対する呼吸循環機能の無拘束測定方法の信頼性と有用性に関する研究	徳武 千足	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
乳癌浸潤の超早期診断を目的とした次世代形態情報ビッグデータの解析	山本 陽一郎	医学部 病理組織学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
臨床実習改革に適したブレンド型PBLの研究	清水 郁夫	医学部 医学教育研修センター	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
患者iPS細胞の遺伝子変異修復と導入による若年性骨髄単球性白血病発症機構の解析	松田 和之	医学部附属病院 臨床検査部	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
質量分析によるM.avium complexの同定および肺MAC症増悪因子の検討	牛木 淳人	医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
高地肺水腫における内皮型一酸化窒素合成酵素遺伝子のシーケンス解析による病態解明	小林 信光	医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマ患者末梢血中の腫瘍循環細胞における遺伝子発現の解析	御子柴 育朋	医学部附属病院 皮膚科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマの臨床形態から治療標的となる遺伝子変異を予測する	皆川 茜	医学部附属病院 皮膚科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマの腫瘍内および腫瘍間におけるBRAF変異の多様性の解析	境澤 香里	医学部附属病院 皮膚科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
実用的な診断および薬物治療反応性評価を可能とするADHDの新規バイオマーカー探索	篠山 大明	医学部 精神医学	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
移植後拒絶反応におけるOGG1の役割	五味淵 俊仁	医学部附属病院 外科(2)	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

オキシトシンは帝王切開術後痛の回復を促進させるか? ~妊婦と動物モデルによる検討	布施谷 仁志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
磁性ビーズを用いたアセトアミノフェンの鎮痛機序の解明	清澤 研吉	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
過分極活性化チャネル阻害薬であるイバブラジンの神経障害性痛に対する鎮痛効果	大田 恵理子(今井恵理子)	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経因性疼痛モデルマウスにおけるCGRPとアドレノメデュリンの関与	石田 公美子(松尾公美子)	医学部 麻酔蘇生学	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
麻酔薬は本当に手術痛を抑制しているのか? :侵害刺激誘発電位による検討	峰村 仁志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遷延性術後痛における炎症細胞浸潤の解析	吉山 勇樹	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
頻尿に対する新しいアプローチ:単純ヘルペスウイルスベクターを使用した遺伝子治療	横山 仁	医学部附属病院 泌尿器科	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
低侵襲人工内耳手術が前庭機能に及ぼす影響に関する研究	塚田 景大	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規ミトコンドリア遺伝子変異による難聴の解析と難聴発症メカニズムの解析	矢野 卓也	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非侵襲的な眼球内終末糖化産物測定方法を用いた糖尿病黄斑浮腫治療効果予測方法の開発	平野 隆雄	医学部附属病院 眼科	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
筋ジストロフィーに対する分子標的治療薬の開発	柴 直子	医学部附属病院 小児科	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
早期発症側彎症のモデルD4ST1欠損型エーラスダンロス症候群の臨床的・基礎的検討	上原 将志	医学部附属病院 整形外科	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨肉腫に対する抗PD-1抗体の有用性の検証およびWntシグナルとの関連性の解明	吉田 和薫	医学部附属病院 整形外科	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
L型カルシウムチャネルのベータサブユニットはサルコペニアの治療標的になるか	小松 雅俊	医学部附属病院 整形外科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨・関節痛は骨髄で知覚する:骨髄をターゲットとした鎮痛法の開発	関口 剛美	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
C線維に特異的に発現しているPLCβ3をターゲットとした術後鎮痛薬の開発	井出 進	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
下部尿路微小循環障害の実験系確立とTRPチャネルの微小循環に対する役割の検討	皆川 倫範	医学部附属病院 泌尿器科	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌におけるMig-6の機能とMPA、HDAC阻害剤併用効果の検討	安藤 大史	医学部附属病院 産科婦人科	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
網膜静脈閉塞症の病態解明とAM-RAMP2系の病態生理学的機序の解明	家里 康弘	医学部附属病院 眼科	800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔がんの術中迅速可視化に関する研究	嶋根 哲	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規医療用シートの臨床応用に関する研究	池田 裕子(荒川 裕子)	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

フィブリノーゲン型腎アミロイドシスの分子病態解明と診断・新規治療法開発への応用	吉長 恒明	医学部附属病院 遺伝子診療部(内科(3))	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小径末梢神経障害の新たな電気生理学的検索法の確立	小平 農	医学部附属病院 内科(3)	440,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
原発性胆汁性肝硬変の病態進展におけるIL-33/ST2 pathwayの役割	城下 智	医学部 内科学第二	2,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
PAHおよび中枢神経作用薬共存下でのヒト中枢神経系GYPの機能解析研究	小澤 秀介	医学部附属病院 薬剤部	480,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
イトラコナゾールによるワルファリン代謝阻害の機構解析	橋本 麻衣子	医学部附属病院 薬剤部	470,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ドセタキセルによる味覚異常に対するクライオセラピーの有効性の検討	井出 貴之	医学部附属病院 薬剤部	570,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
造血幹細胞移植におけるガンシクロビル誘導型骨髄抑制のリスク因子の探索	笠垣 貴大	医学部附属病院 薬剤部	300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
抗血栓薬の適正使用と周術期インシデントの関連性	土屋 広行	医学部附属病院 薬剤部	300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Small-Colony Variants検出時に検査すべき株の選択について	堀内 一樹	医学部附属病院 臨床検査部	430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血清中アシルグリセロールの一斉分析法の構築 一中性脂肪測定国際標準化に向けて	川崎 健治	医学部附属病院 臨床検査部	350,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
グラム染色とマイクロダイセクション法を用いた腔内病原性細菌の同定	根岸 達哉	医学部附属病院 臨床検査部	430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肺炎患者と健康高齢者における嚥下機能と呼吸機能の関連	酒井 康成	医学部附属病院 リハビリテーション部	540,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
カルシトニン遺伝子関連ペプチドの炎症制御機構の解明と、眼内炎症疾患への応用展開	鳥山 佑一	医学部 眼科学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
心疾患患者における運動機能の改善の再入院の関係について	山本 周平	医学部附属病院 リハビリテーション部	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
心筋の機能維持・代謝制御とその破綻に関わる転写・エピジェネティック制御機構の解明	桑原 宏一郎	医学部 内科学第五	0	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
心血管疾患基盤病態としての肥満症における転写共役因子MRTF-Aの意義の解明	桑原 宏一郎	医学部 内科学第五	267,078	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮頸がんワクチン接種後に生じた症状に関する治療法の確立と情報提供についての研究	池田 修一	医学部附属病院 難病診療センター	4,500,000	補 委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
脳髄黄色腫症の実態把握と診療標準化のためのガイドライン作成	関島 良樹	医学部 内科学第三	1,045,000	補 委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
難治性聴覚障害に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	18,661,000	補 委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援の実施と評価	本田 秀夫	医学部附属病院 子どものこころ診療部	7,120,000	補 委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
成人例の左室緻密化障害の全国調査	池田 宇一	医学部 内科学第五	947,000	補 委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金

感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i Drug freeからHBs抗原消失を 目指すB型肝炎抗ウイルス療法と この効果を予測する新規因子の 検討(AMED)	田中 榮司	医学部 内科学第二	27,300,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
医薬品等規制調和・評価研究事 業 市販後における重篤副作用(間 質性肺炎、横紋筋融解症、重症 薬疹等)の発症要因解明と安全 対策に関する研究	花岡 正幸	医学部 内科学第一	406,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
革新的先端研究開発支援事業 生理活性因子の情報制御システ ムに基づく革新的な医薬品の創 出(AMED)	村田 敏規	医学部 眼科学	2,340,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
医療機器開発推進研究事業 世界初・日本発のカーボンナノ チューブ複合ポリエチレンソケッ トを使用した人工関節の実用化研 究(AMED)	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・ 生体医工学部門	35,100,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
医療機器開発推進研究事業 在宅人工呼吸器の遠隔監視シス テムの開発(AMED)	中村 昭則	医学部 内科学第三	7,488,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
難治性疾患実用化研究事業 科学的エビデンスに基づいた遺 伝性難聴の治療法確立に関する 調査研究(AMED)	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	9,880,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
長寿・障害総合研究事業 障害対策総合研究開発事業(感 覚器障害分野) 原因診断に基づく小児難聴の治 療・療育システム構築に関する研 究(AMED)	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	12,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
臨床ゲノム情報統合データベー ス整備事業 希少・難病分野の臨床ゲノム情報 統合データベース整備	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	13,200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
臨床研究等ICT基盤構築研究事 業 機序の異なる人工知能の多重解 析による癌コンパニオン診断シス テムの開発(AMED)	山本 陽一郎	医学部 病理組織学	30,818,622	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
臨床ゲノム情報統合データベー ス整備事業 感覚器障害領域を対象とした統 合型臨床ゲノム情報データスト レージの構築に関する研究 (AMED)	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	50,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
臨床ゲノム情報統合データベー ス整備事業 ゲノム医療の実装に資する臨床 ゲノム情報統合データベースの 整備と我が国の継続的なゲノム医 療実施体制の構築(AMED)	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	6,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
難治性疾患実用化研究事業 デルマタン4-O-硫酸基転移酵 素-1欠損に基づくエーラスダン ロス症候群の病態解明と治療法 の開発 (AMED)	古庄 知己	医学部附属病院 遺伝子医療研究センター	28,990,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
未来医療を実現する先端医療機 器・システムの研究開発/安全 性と医療効率の向上を両立する スマート治療室の開発(AMED)	本郷 一博	医学部 脳神経外科学	41,979,600	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
C18.「IL-12発現型がん治療ウイ ルスを用いた悪性黒色腫のウイ ルス免疫開発療法」	奥山 隆平	医学部 皮膚科学	47,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 研究開発施設共用 等促進費補助金

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Motoki N, Akazawa Y,	小児科	Prognostic Significance of QT	Circ J. 2017 Mar;81(4):537-542	Original Article
2	Yoshinaga T, Yazaki M,	脳神経内科/リウマチ・膠原 病内科	Marked biochemical difference in amyloid	Amyloid. 2017 Mar;24(1):17-23	Original Article
3	Oba T, Maeno K,	乳腺内分泌・呼吸器外科	A Case of Adenomyoepithelioma	Breast J. 2017 Mar;23(2):220-224	Case report
4	Nishimura H, Miura T,	循環器内科	Prognostic value of ankle brachial index	Heart Vessels. 2017 Mar;32(3):295-302	Original Article
5	Nishio SY, Usami SI.	耳鼻咽喉科	The Clinical Next- Generation	Hum Mutat. 2017 Mar;38(3):252-259	Original Article
6	Harada M, Miura T,	循環器内科	Clinical impact of complete	Int J Cardiol. 2017 Mar;230:413-419	Original Article
7	Katoh N, Ueno A,	脳神経内科/リウマチ・膠原 病内科	Bortezomib- dexamethasone	Int J Hematol. 2017 Mar;105(3):341-348	Original Article
8	Shimajima Y, Ishii W,	脳神経内科/リウマチ・膠原 病内科	Effective Use of Calcineurin Inhibitor	J Clin Rheumatol. 2017 Mar;23(2):87-93	Original Article
9	Matsumoto A, Imaizumi	消化器内科	Novel and highly sensitive	J Gastroenterol. 2017 Mar;52(3):376-384	Original Article
10	Uehara M, Takahashi J,	整形外科	Computer-assisted skip pedicle screw	J Orthop Sci. 2017 Mar;22(2):218-223	Original Article
11	Watanabe T, Kurata T,	小児科	Dramatic Reduction in Tumor Size During	J Pediatr Hematol Oncol. 2017 Mar;39(2):154-156	Original Article
12	Uyen TN, Sakashita K,	小児科	Aberrant methylation of protocadherin 17	Pediatr Blood Cancer. 2017 Mar;64(3) (オンライ)	Original Article
13	Ozawa Y, Yamamoto H,	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Two patients with TAFRO syndrome	Respir Investig. 2017 Mar;55(2):176-180	Original Article
14	Tanaka M, Sato Y,	整形外科	A three-dimensional block structure	PLoS One. 2017 Feb;12(2):e0172601 (オン)	Original Article
15	Uemura K, Hayashi M,	整形外科	Myostatin promotes tenogenic	FEBS Open Bio. 2017 Feb;7(4):522-532	Original Article
16	Tanaka M, Sato Y,	整形外科	In Vitro and In Vivo Evaluation of a	Nanomaterials (Basel). 2017 Feb;7(2). pii: E46	Original Article
17	Koya T, Yanagisawa	先端細胞治療センター	Interferon- γ - inducible Dendritic	Sci Rep. 2017 Feb;7:42145 (オンライン)	Original Article
18	Noguchi Y, Fukuda S,	耳鼻咽喉科	A nationwide study on enlargement of the	Auris Nasus Larynx. 2017 Feb;44(1):33-39	Original Article
19	Yamazaki T, Ochi Y,	消化器内科	Massive ascites caused by intra-	Clin J Gastroenterol. 2017 Feb;10(1):73-78	Case report
20	Kitabatake H, Nagaya T,	消化器内科	Development of diffuse large B-cell	Clin J Gastroenterol. 2017 Feb;10(1):79-85	Case report
21	Uchibori T, Matsuda K,	臨床検査部	IL-6 trans-signaling is another pathway to	Cytokine. 2017 Feb;90:88-95	Original Article
22	Yamada A, Komatsu D,	放射線科	Evaluation of user input methods for	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2017 Feb;12(2):339-	Original Article
23	Ogawa T, Sakakibara R,	泌尿器科	Prevalence and treatment of LUTS in	Nat Rev Urol. 2017 Feb;14(2):79-89	Review
24	Asaka S, Yoshizawa A,	臨床検査部	A novel, rapid point- of-care test for lung	Oncol Rep. 2017 Feb;37(2):1020-1026	Original Article
25	Hirabayashi K, Takatsuki	小児科	Nonocclusive Mesenteric Ischemia	Pediatr Neonatol. 2017 Feb;58(1):81-84	Original Article
26	Uehara M, Takahashi J,	整形外科	Optimal cervical screw insertion angle	Spine J. 2017 Feb;17(2):190-195	Original Article
27	Shimodaira H, Tensho K,	整形外科	Tibial Tunnel Positioning	Arthrosc Tech. 2017 Jan;6(1):e49-e55 (オンラ)	Original Article
28	Kitazawa M, Hida S, Fujii	消化器外科	ASC Induces Apoptosis via	PLoS One. 2017 Jan;12(1):e0169340	Original Article

29	Ideta H, Uchiyama S,	整形外科	Painful locking of the wrist in a patient with	J Surg Case Rep. 2017 Jan;2017(1). pii: rjw216	Original Article
30	Matsuda K.	臨床検査部	PCR-Based Detection Methods	Adv Clin Chem. 2017 Jan;80:45-72	Original Article
31	Ueki Y, Miura T,	循環器内科	Reply: Inflammatory Cytokine Levels	Angiology. 2017 Jan 1;3319717707661 (オンラ	Original Article
32	Yoshida K, Hayashi H,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Coexistence of Copper in the Iron-	Biol Trace Elem Res. 2017 Jan;175(1):79-86	Original Article
33	Sasayama D, Hattori K,	精神科	Genome-wide quantitative trait loci	Hum Mol Genet. 2017 Jan;26(1):44-51	Original Article
34	Koyama M, Miyagawa Y,	消化器外科	Surgery for chronic mesh infection	Int J Surg Case Rep. 2017;30:215-217	Original Article
35	Doden T, Sekijima Y,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Postpartum Anti-N-methyl-D-aspartate	Intern Med. 2017 Feb;56(3):357-362	Case report
36	Yasuo M, Kitaguchi Y,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Self-assessment of Allergic Rhinitis and	Intern Med. 2017 Jan;56(1):31-39	Original Article
37	Harada M, Izawa A,	循環器内科	Importance of cystatin C and uric	J Cardiol. 2017 Jan;69(1):222-227	Original Article
38	Matsumoto A.	消化器内科	Hepatitis B core-related antigen: a	J Gastroenterol. 2017 Jan;52(1):127-128	Others
39	Joshita S, Umemura T,	消化器内科	Genetic Contribution to the Pathogenesis	J Immunol Res. 2017 Feb;2017:3073504 (オンラ	Review
40	Hirano T, Toriyama Y,	眼科	Effect of leaking perifoveal	Jpn J Ophthalmol. 2017 Jan;61(1):51-60	Original Article
41	Shimajima Y, Ishii W,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Imbalanced expression of	Mod Rheumatol. 2017 Jan;27(1):102-109	Original Article
42	Akazawa Y, Kamiya M,	小児科	Impact of Decreased Serum Insulin-Like	Neonatology. 2017;111(1):30-36	Original Article
43	Kodaira M, Sekijima Y,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Squatting-induced bilateral peroneal	Occup Med (Lond). 2017 Jan;67(1):75-77	Original Article
44	Yamada SI, Kurita H,	特殊歯科・口腔外科	Healthy life expectancy of oral	Oral Oncol. 2017 Jan;64:22-26	Original Article
45	Kinugawa Y, Uehara T,	臨床検査部	Methylation of Tumor Suppressor Genes in	Pancreas. 2017 May/Jun;46(5):614-618	Original Article
46	Tada H, Ogihara T,	精神科	A case of severe parkinsonism in an	Psychogeriatrics. 2017 Jan;17(1):76-77	Case report
47	Ushiki A, Nozawa S,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Associations between the distance covered	Respir Investig. 2017 Jan;55(1):33-38	Original Article
48	Minagawa T, Saitou T,	泌尿器科	Impact of ao-dake-humi, Japanese	BMC Complement Altern Med. 2016 Dec;16(1):513	Original Article
49	Ueki Y, Miura T,	循環器内科	Inflammatory Cytokine Levels	Angiology. 2016 Dec 8. pii: 0003319716682122	Original Article
50	Nagm A, Ogiwara T,	脳神経外科	Neuroendoscopy via an Extremely Narrow	NMC Case Rep J. 2016 Dec;4(1):37-42	Original Article
51	Iwasa YI, Nishio SY,	耳鼻咽喉科	Comprehensive Genetic Analysis of	PLoS One. 2016 Dec;11(12):e0166781 (オ	Original Article
52	Harada Y, Tanaka N,	小児科	PPAR α -dependent cholesterol/testoster	Arch Toxicol. 2016 Dec;90(12):3061-3071	Original Article
53	Asai Y, Uhara H,	皮膚科	Late Onset of Acute Urticaria after Bee	Case Rep Dermatol. 2016 Dec;8(3):341-343	Original Article
54	Nishimaki F, Kurita H,	特殊歯科・口腔外科	Subjective and qualitative	Int J Implant Dent. 2016 Dec;2(1):14	Original Article
55	Teramoto Y, Kurita H,	特殊歯科・口腔外科	A case of peri-implantitis and	Int J Implant Dent. 2016 Dec;2(1):11	Original Article
56	Ueno KI, Shimajima Y,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Advantage of administering	Int J Rheum Dis. 2016 Dec;19(12):1322-1330	Original Article
57	Sasayama D, Washizuka S,	子どものこころ診療部	Effective Treatment of Night Terrors and	J Child Adolesc Psychopharmacol. 2016	Original Article
58	Nagm A, Horiuchi T,	脳神経外科	Risky Cerebrovascular	World Neurosurg. 2016 Dec;96:610.e15-610.e20	Original Article
59	Ito K, Seguchi T,	脳神経外科	Evaluation of Metallic Artifacts Caused by	World Neurosurg. 2016 Dec;96:16-22	Original Article
60	Nishimura H, Miura T,	循環器内科	Clinical Characteristics and	PLoS One. 2016 Nov;11(11):e0167150 (オ	Original Article
61	Miura T, Miyashita Y,	循環器内科	Efficacy and Safety of Percutaneous	Angiology. 2016 Nov 16. pii: 0003319716679341	Original Article

62	Kikuchi N, Ohira S,	産科婦人科	Prenatal sonographic diagnosis of fetal	J Med Case Rep. 2016 Nov;10(1):312 (オンライン)	Case report
63	Moteki H, Azaiez H,	耳鼻咽喉科	Detection and Confirmation of	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2016 Nov;125(11):918-	Original Article
64	Harada M, Kamijo Y,	腎臓内科	Peroxisome proliferator-activated	Clin Sci (Lond). 2016 Nov;130(21):1969-1981	Original Article
65	Minamisawa M, Koyama J,	循環器内科	Regression of left ventricular	J Cardiol. 2016 Nov;68(5):431-438	Original Article
66	Itō K, Aoyama T,	脳神経外科	Novel dural incision and closure	J Neurosurg Spine. 2016 Nov;25(5):620-625	Case report
67	Ando H, Miyamoto T,	産科婦人科	Usefulness of a management protocol	J Obstet Gynaecol Res. 2016 Nov;42(11):1588-	Original Article
68	Abe R, Sekijima Y,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Spinal form cerebrotendinous	J Spinal Cord Med. 2016 Nov;39(6):726-729	Original Article
69	Motobayashi M, Morita D,	小児科	Serial Monitoring of Plasma Levetiracetam	Pediatr Neurol. 2016 Nov;64:e5-e6	Letter
70	Joko T, Washizuka S,	精神科	Patterns of hippocampal atrophy	Psychogeriatrics. 2016 Nov;16(6):355-361	Original Article
71	Shimizu A, Kobayashi A,	消化器外科	Correlation between the serum levels of	Surgery. 2016 Nov;160(5):1244-1255	Original Article
72	Ushiyama S, Kinoshita T,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Hypertrophic Pachymeningitis as an	Case Rep Neurol. 2016 Oct;8(3):211-217	Original Article
73	Akazawa Y, Motoki N,	小児科	Decreased Aortic Elasticity in Children	Circ J. 2016 Oct;80(11):2369-2375	Original Article
74	Oba T, Izumi H, Ito KI.	乳腺内分泌・呼吸器外科	ABCB1 and ABCC11 confer resistance to	Oncotarget. 2016 Oct;7(43):70011-70027	Original Article
75	Shiba Y, Gomibuchi T,	循環器内科	Allogeneic transplantation of iPSC	Nature. 2016 Oct;538(7625):388-391	Original Article
76	Hayashi T, Kawano M,	産科婦人科	Molecular Pathology and Novel Clinical	Anticancer Res. 2016 Oct;36(10):4997-5007	Review
77	Takahashi J, Hirabayashi	整形外科	Challenges of Transarticular Screw	Asian Spine J. 2016 Oct;10(5):950-954	Original Article
78	Kuroiwa M, Fukushima N,	脳神経外科	Morphological analysis of	Brain Res Bull. 2016 Oct;127:66-73	Original Article
79	Zhang M, Yoshizawa A,	乳腺内分泌・呼吸器外科	The histological characteristics and	Cancer Med. 2016 Oct;5(10):2721-2730	Original Article
80	Ashida A, Sakaizawa K,	皮膚科	Quantitative analysis of the BRAF (V600E)	Int J Clin Oncol. 2016 Oct;21(5):981-988	Original Article
81	Hashimoto K, Harada M,	腎臓内科	Pure red cell aplasia induced by anti-	Int J Hematol. 2016 Oct;104(4):502-5	Case report
82	Minamisawa M, Koyama J,	循環器内科	Author's reply.	J Cardiol. 2016 Oct;68(4):359-60	Original Article
83	Uhara H, Sano T,	皮膚科	Orange pigmentation spots on the sole may	J Dermatol. 2016 Oct;43(10):1247-1248	Case report
84	Shigemura T, Ohno Y,	小児科	Gangrenous appendicitis in a	Pediatr Int. 2016 Oct;58(10):1093-1094	Case report
85	Motobayashi M, Nishimura	小児科	Usefulness of Circulating B-cell-	Pediatr Neurol. 2016 Oct;63:e1-2	Letter
86	Morita D, Hirabayashi	小児科	Viral load and ganciclovir (GCV)	Transpl Infect Dis. 2016 Oct;18(5):773-776	Case report
87	Ogiwara T, Goto T,	脳神経外科	Relationship Between Muscle Dissection	World Neurosurg. 2016 Oct;94:426-431	Original Article
88	Akazawa Y, Hachiya A,	小児科	Cardiovascular Remodeling and	Circ J. 2016 Sep;80(10):2212-20	Original Article
89	Mori K, Moteki H,	耳鼻咽喉科	Social Health Insurance-Based	PLoS One. 2016 Sep;11(9):e0162230 (オン)	Original Article
90	Shimodaira H, Tensho K,	整形外科	Remnant-Preserving Tibial Tunnel	Arthroscopy. 2016 Sep;32(9):1822-30	Original Article
91	Okada N, Fujii C,	皮膚科	Novel role of ASC as a regulator of	Cancer Med. 2016 Sep;5(9):2487-500	Original Article
92	Fujimori N, Tanaka N,	消化器内科	Controlled attenuation	Hepatol Res. 2016 Sep;46(10):1019-27	Original Article
93	Matsumoto T, Negishi T,	臨床検査部	Nocardia shinanonensis sp.	Int J Syst Evol Microbiol. 2016 Sep;66(9):3324-3328	Original Article
94	Kito M, Yoshimura Y,	整形外科	Clinical outcome of dedifferentiated	J Orthop Sci. 2016 Sep;21(5):673-7	Original Article

95	Nishimura M, Itsubo T,	整形外科	Tardy ulnar nerve palsy caused by	J Pediatr Orthop B. 2016 Sep;25(5):450-3	Original Article
96	Kanai K, Maruyama M,	消化器内科	Autoimmune Pancreatitis Can	Pancreas. 2016 Sep;45(8):1189-95	Original Article
97	Nakajima T, Uehara T,	臨床検査部	Distribution of Lgr5-positive cancer cells	Pathol Int. 2016 Sep;66(9):518-23	Original Article
98	Nakamura T, Setsu K,	精神科	Chronic exposure to carbon monoxide in	Psychogeriatrics. 2016 Sep;16(5):323-6	Case report
99	Yasuo M, Kobayashi T,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Combination of virtual bronchoscopic	Respir Investig. 2016 Sep;54(5):355-63	Original Article
100	Tokoro Y, Yasuo M,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Computed tomography-guided	Respir Investig. 2016 Sep;54(5):347-54	Original Article
101	Sekijima Y, Yazaki M,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Cerebral amyloid angiopathy in	Neurology. 2016 Aug;87(8):773-81	Original Article
102	Duan H, Hara Y, Goto	脳神経外科	Giant cavernous malformation in the	Acta Neurochir (Wien). 2016 Aug;158(8):1533-8	Original Article
103	Ito K, Aoyama T,	脳神経外科	Surgery for ventral intradural thoracic	Acta Neurochir (Wien). 2016 Aug;158(8):1563-9	Original Article
104	Koyama J.	循環器内科	Prognostic Significance of Occult	Circ Cardiovasc Imaging. 2016 Aug;9(8). pii:	Others
105	Tanaka Y, Nakayama J.	形成外科	Upregulated epidermal growth	Clin Interv Aging. 2016 Aug;11:1027-33	Original Article
106	Yamazaki T, Iwaya Y,	消化器内科	A case of simultaneous	Clin J Gastroenterol. 2016 Aug;9(4):222-7	Case report
107	Fujinaga Y, Kitou Y,	放射線科	Advantages of radial volumetric breath-	Eur Radiol. 2016 Aug;26(8):2790-7	Original Article
108	Yoshizawa K, Joshita S,	消化器内科	Incidence and prevalence of	Hepatol Res. 2016 Aug;46(9):878-83	Original Article
109	Shibata S, Umemura T,	消化器内科	Liver stiffness-spleen size-to-platelet ratio	Hepatol Res. 2016 Aug;46(9):884-9	Original Article
110	Yamamoto S, Hotta K, Ota	リハビリテーション部	Effects of resistance training on muscle	J Cardiol. 2016 Aug;68(2):125-34	Original Article
111	Nakamura K, Okuyama R.	皮膚科	Immunotherapy for advanced melanoma:	J Dermatol Sci. 2016 Aug;83(2):87-94	Review
112	Miyazaki D, Nakamura A,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Elevation of serum heat-shock protein	Neurol Sci. 2016 Aug;37(8):1277-81	Original Article
113	Miyazaki D, Nakamura A,	難病診療センター	Elevation of serum heat-shock protein	Neurol Sci. 2016 Aug;37(8):1277-81	Original Article
114	Hachiya A, Motoki N,	小児科	Left ventricular non-compaction revealed	Pediatr Int. 2016 Aug;58(8):797-800	Case report
115	Hosoda K, Kobayashi A,	消化器外科	Neuroendocrine tumor of the	Surgery. 2016 Aug;160(2):525-6	Original Article
116	Al-Kzayer LF, Keizer P,	小児科	Rapidly progressive Kaposi's Sarcoma in	BMC Pediatr. 2016 Jul;16:111 (オンライン)	Original Article
117	Negishi T, Matsumoto	臨床検査部	Catheter-Related Bacteremia Due to	Jpn J Infect Dis. 2016 Jul;69(4):342-3	Case report
118	Tokimitsu M, Murata M,	眼科	Delineation of capillary dropout in	BMC Ophthalmol. 2016 Jul;16:113 (オンライン)	Case report
119	Umemura T, Joshita S,	消化器内科	Genetic Association of PTPN22	Sci Rep. 2016 Jul;6:29770 (オンライン)	Original Article
120	Kato A, Yamamoto H,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	A case of pulmonary Mycobacterium avium	Respir Med Case Rep. 2016 Jul;19:49-52	Original Article
121	Shibata S, Joshita S,	消化器内科	Liver stiffness-spleen size-to-platelet ratio	Springerplus. 2016 Jul;5(1):998 (オンライン)	Original Article
122	Fuseya S, Yamamoto K,	麻酔科蘇生科	Systemic QX-314 Reduces Bone	Anesthesiology. 2016 Jul;125(1):204-18	Original Article
123	Yanagisawa R, Ogiso Y,	小児科	Multinucleated giant cells in Langerhans	Br J Haematol. 2016 Jul;174(1):7 (オンライン)	Original Article
124	Hanamura T, Ito T, Kanai	乳腺内分泌・呼吸器外科	Human 3 β -hydroxysteroid	Cancer Med. 2016 Jul;5(7):1405-15	Original Article
125	Iwaya Y, Yamazaki T,	消化器内科	Case of Barrett's adenocarcinoma with	Dig Endosc. 2016 Jul;28(5):607-10	Case report
126	Minagawa A, Tanaka M,	皮膚科	Pigmented seborrheic keratosis showing	J Am Acad Dermatol. 2016 Jul;75(1):e11-3	Original Article
127	Ikegami S, Kamimura M,	整形外科	Clinical Implications of Hip Flexion in the	J Clin Densitom. 2016 Jul-Sep;19(3):270-6	Original Article

128	Hayashi K, Okuyama R,	皮膚科	Water-based correction fluid is a	J Dermatol. 2016 Jul;43(7):823-5	Case report
129	Nakamura A, Fueki N,	難病診療センター	Deletion of exons 3-9 encompassing a	J Hum Genet. 2016 Jul;61(7):663-7	Case report
130	Nakamura A, Fueki N,	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Deletion of exons 3-9 encompassing a	J Hum Genet. 2016 Jul;61(7):663-7	Case report
131	Minagawa T, Suzuki T,	泌尿器科	Modified sonourethrography	J Med Ultrason (2001). 2016 Jul;43(3):443-8	Original Article
132	Akaoka Y, Yamazaki H,	整形外科	Risk factors for the effect of	Medicine (Baltimore). 2016 Jul;95(27):e4120 (オ	Original Article
133	Yamada S, Yanamoto S,	特殊歯科・口腔外科	Skp2 Regulates the Expression of MMP-2	Pathol Oncol Res. 2016 Jul;22(3):625-32	Original Article
134	Morita D, Nakazawa Y,	小児科	Early-onset colorectal cancer in	Pediatr Int. 2016 Jul;58(7):637-9	Case report
135	Nagm A, Horiuchi T,	脳神経外科	Relationship Between Successful	World Neurosurg. 2016 Jul;91:112-20	Original Article
136	Minagawa A, Omodaka T,	皮膚科	Melanomas and Mechanical Stress	N Engl J Med. 2016 Jun;374(24):2404-6	Letter
137	Koga H, Yoshikawa S,	皮膚科	Long-term Follow-up of Longitudinal	Acta Derm Venereol. 2016 Jun;96(5):716-7	Original Article
138	Eguchi T, Kadota K,	呼吸器外科	Cell cycle progression score is a	Oncotarget. 2016 Jun;7(23):35241-56	Original Article
139	Ido Y, Uchiyama S,	リハビリテーション部	Postoperative improvement in	Sci Rep. 2016 Jun;6:27497	Original Article
140	Tanaka A, Yoshimura Y,	整形外科	Knee extension strength and post-	Bone Joint Res. 2016 Jun;5(6):232-8	Original Article
141	Honda T, Uehara T,	臨床検査部	Neutrophil left shift and white blood cell	Clin Chim Acta. 2016 Jun;457:46-53	Review
142	Shibata S, Umemura T,	消化器内科	Severe hepatotoxicity associated with	Hepatology. 2016 Jun;63(6):2063-4	Letter
143	Hama M, Ushiki A,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Health-related quality of life in	Int J Tuberc Lung Dis. 2016 Jun;20(6):747-52	Original Article
144	Ashida A, Shimizu A,	皮膚科	Acquired epidermodysplasia	J Dermatol. 2016 Jun;43(6):717-8	Case report
145	Murata T, Dietrich HH,	脳神経外科	Mechanisms of magnesium-induced	Neurosci Res. 2016 Jun;107:57-62	Original Article
146	Yanagisawa R, Takeuchi	小児科	Transfusion-related acute lung injury in	Pediatr Int. 2016 Jun;58(6):543-4	Case report
147	Saida K, Ito Y, Shima Y et	小児科	Ampicillin- and ampicillin/sulbactam-	Pediatr Int. 2016 Jun;58(6):537-9	Case report
148	Nakazawa Y.	小児科	Gene-modified T-cell therapy using	Rinsho Ketsueki. 2016 Jun;57(6):701-8	Original Article
149	Nagm A, Horiuchi T,	脳神経外科	Dural Arteriovenous Fistula Could Be Due	World Neurosurg. 2016 Jun;90:699.e11-8	Original Article
150	Miyamoto T, Kashima H,	産科婦人科	Lipocalin 2 Enhances Migration and	PLoS One. 2016 May;11(5):e0155220 (オン	Original Article
151	Kobayashi M, Sugiyama N,	精神科	Sex differences in the serum level of	Sci Rep. 2016 May;6:25878 (オンライン)	Original Article
152	Kitaguchi Y, Yasuo M,	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Comparison of pulmonary function in	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2016	Original Article
153	Shigemura T, Kaneko N,	小児科	Novel heterozygous C243Y	RMD Open. 2016 May;2(1):e000223 (オンラ	Original Article
154	Shibazaki T, Hirabayashi	小児科	Clinical and laboratory outcomes	Am J Med Genet A. 2016 May;170A(5):1278-82	Case report
155	Qi F, Yoshida T,	特殊歯科・口腔外科	Construction and characterization of	Arch Oral Biol. 2016 May;65:26-34	Original Article
156	Yokoyama H, Domen T,	泌尿器科	Postoperative Mycoplasma hominis	Asian J Endosc Surg. 2016 May;9(2):146-8	Case report
157	Komatsu M, Ueda K,	放射線科	Epigastric Mass in an Infant With First	Gastroenterology. 2016 May;150(5):e7-8	Case report
158	Hioki H, Motoki H,	循環器内科	Impact of oral beta-blocker therapy on	Heart Vessels. 2016 May;31(5):687-93	Original Article
159	Kimura K, Momose T,	循環器内科	Early administration of tolvaptan	J Cardiol. 2016 May;67(5):399-405	Original Article
160	Shigemura T, Nakazawa Y,	小児科	Immune Complex-Mediated	J Clin Immunol. 2016 May;36(4):357-9	Letter

161	Takazawa Y, Edamitsu T,	皮膚科	5- Hydroxymethylcytosi	J Dermatol. 2016 May;43(5):579-80	Case report
162	Yoshimura H, Miyagawa M,	耳鼻咽喉科	Frequency of Usher syndrome type 1 in	J Hum Genet. 2016 May;61(5):419-22	Original Article
163	Tsuji A, Minagawa A,	皮膚科	Erythematous Papules and Plaques	JAMA Dermatol. 2016 May;152(5):569-70	Original Article
164	Arai T, Kobayashi A,	消化器外科	Contrast- enhancement ratio on	Pancreatology. 2016 May- Jun;16(3):397-402	Original Article
165	Iesato Y, Yuda K,	眼科	Adrenomedullin: A potential therapeutic	Prog Retin Eye Res. 2016 May;52:112-29	Review
166	Hayashida M, Yasuo M,	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Reductions in pulmonary function	Respir Investig. 2016 May;54(3):193-200	Original Article
167	Yanagisawa R, Shimodaira	小児科	Factors related to allergic transfusion	Vox Sang. 2016 May;110(4):376-84	Original Article
168	Koizumi T, Fukushima T,	信州がんセンター	Alectinib-Induced Alopecia in a Patient	Case Rep Oncol. 2016 Apr;9(1):212-5	Original Article
169	Minamisawa M, Koyama J,	循環器内科	Comparison of the standard and speckle	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2016	Original Article
170	Ishida T, Kiuchi C,	麻酔科蘇生科	McGRATH MAC video laryngoscope	Eur J Anaesthesiol. 2016 Apr;33(4):263-8	Original Article
171	Ngerageza JG, Horiuchi	脳神経外科	Iatrogenic dural arteriovenous fistula	Head Neck. 2016 Apr;38(4):E87-90	Case report
172	Ashida A, Ogawa E,	皮膚科	Inhibition of epidermal growth	J Dermatol Sci. 2016 Apr;82(1):53-6	Letter
173	Hirabayashi K, Yamauchi	小児科	Anaplastic Large- Cell Lymphoma of the	Pediatr Blood Cancer. 2016 Apr;63(4):755-6	Case report
174	Hirabayashi K, Kurata T,	小児科	Loss of Mismatched HLA on the	Pediatr Blood Cancer. 2016 Apr;63(4):709-11	Case report
175	Hioki H, Miyashita Y,	循環器内科	Impact of deteriorated calcium-	Vasc Med. 2016 Apr;21(2):137-43	Original Article
176	Aoyama T, Miyaoka Y,	脳神経外科	Long Segment Spinal Dural Cyst: A Case	World Neurosurg. 2016 Apr;88:686.e13-7	Case report
177	Nagm A, Horiuchi T,	脳神経外科	Intraoperative Evaluation of Reverse	World Neurosurg. 2016 Apr;88:603-8	Case report
178	Nishio SY, Schrauwen I,	耳鼻咽喉科	Advances in Molecular Genetics	Biomed Res Int. 2016 Jul;2016:5629093 (オンラ	Original Article
179	Nitta K, Imamura H,	救急科	Diffuse Alveolar Hemorrhage	Case Rep Crit Care. 2016 Oct;2016:7938062 (オンラ	Original Article
180	Yamada Y, Ohira S,	産科婦人科	Ectopic Molar Pregnancy:	Case Rep Obstet Gynecol. 2016 Aug;2016:7618631	Original Article
181	Hirayama A, Joshita S,	消化器内科	Lymphocyte Antigen 75 Polymorphisms	Dis Markers. 2016 Nov;2016:6485343 (オン	Original Article
182	Tatai T, Gomi D,	信州がんセンター	Effectiveness of Imatinib Mesylate	Intern Med. 2016 Sep;55(17):2507-11	Case report
183	Yamada Y, Harada M,	腎臓内科	Acute Phosphate Nephropathy with	Intern Med. 2016 Aug;55(16):2229-35	Case report
184	Miyazaki D, Fukushima K,	脳神経内科/リウマチ・膠原 病内科	Crossed Cerebellar Diaschisis in Status	Intern Med. 2016 Jun;55(12):1649-51	Case report
185	Ueno A, Katoh N,	脳神経内科/リウマチ・膠原 病内科	Liver Transplantation Is a Potential	Intern Med. 2016 Jun;55(12):1585-90	Case report

計185件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
～					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容	
① 「臨床研究に関する標準業務手順書」・・・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、国立大学法人信州大学医学部・附属病院における研究者が主導して行う人を対象とする医学系研究の実施に必要な手続きと運営に関する手順を定めている。	
② 「倫理審査申請の手順」・・・倫理審査申請から承認、研究の実施までの流れを定めている。	
③ 「他の研究機関からの審査依頼に関する標準業務手順書」・・・他の研究機関の長から人を対象とする医学系研究の審議を依頼された場合の手順を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容	
国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回 (適宜)

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 ~ 2 回
-----------------------	-----------

・研修の主な内容

倫理委員に対する講習会の開催

CITI Japanのe-learning受講による教育研修（研究者・倫理委員は受講修了が必須）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科学 (1) (呼吸器・感染症・アレルギー内科) 大学院・専門医コース, 呼吸器専門医・感染症専門医・アレルギー専門医コース, 消化器 (肝・胆膵・消化管) 専門医コース, 血液内科専門医コース, 腎臓・透析専門医コース, 神経内科専門医コース, リウマチ・膠原病内科専門医コース, 脳神経内科学大学院コース, リウマチ・膠原病内科学大学院コース, 大学院・研究コース, 臨床コース, 一般循環器内科コース, 循環器内科サブスペシャリティ取得コース, 大学院・研究コース, 一般精神医学コース, 大学院・研究コース, 精神科サブスペシャリティ取得コース, 小児科専門研修プログラム, 一般皮膚科コース, 大学院・研究コース, 皮膚科サブスペシャリティ取得コース, 放射線科専門医コース, 放射線診断専門医コース, 放射線治療専門医コース, 外科コース, 一般整形外科コース, 大学院・研究コース, 整形外科サブスペシャリティ取得コース, 脳神経外科専門医コース, 泌尿器科コース, 眼科専門医コース, 専門医コース, 一般産婦人科医学コース, 研究コース, 産婦人科サブスペシャリティ取得コース, 麻酔科専門医コース その1 (卒後臨床研修2年終了後、大学院・学位取得), 麻酔科専門医コース その2 (卒後臨床研修2年終了後、大学院・関連病院間連携), 形成外科専門医コース, 一般救急・集中治療医コース, 大学院・研究コース, 病理・検査専門医コース, 臨床遺伝専門医コース, 精神科サブスペシャリティ取得コース, がんプロ養成基盤推進プラン (大学院・専門医コース), 腫瘍内科・放射線治療専門医コース, がん治療短期研修コース

2 研修の実績

研修医の人数	95 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症内科	教授	27 年	
田中 榮司	消化器内科	教授	38 年	
中澤 英之	血液内科	講師	14 年	
上條 祐司	腎臓内科	診療教授	22 年	
関島 良樹	脳神経内科	准教授	25 年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌代謝内科	教授	30 年	
桑原 宏一郎	循環器内科	教授	25 年	
鷺塚 伸介	精神科	教授	22 年	
中沢 洋三	小児科	教授	20 年	
奥山 隆平	皮膚科	教授	27 年	
角谷 眞澄	放射線科	教授	39 年	
宮川 眞一	消化器外科 移植外科 小児外科	教授	34 年	
岡田 健次	呼吸器外科	教授	28 年	
伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	教授	28 年	
加藤 博之	整形外科	教授	37 年	
本郷 一博	脳神経外科	教授	38 年	

石塚 修	泌尿器科	教授	32年	
村田 敏規	眼科	教授	30年	
宇佐美 真一	耳鼻いんこう科	教授	35年	
塩沢 丹里	産科婦人科	教授	30年	
川眞田 樹人	麻酔科蘇生科	教授	30年	
杠 俊介	形成外科	准教授	27年	
今村 浩	救急科	教授	29年	
本田 孝行	臨床検査部	教授	35年	
福嶋 義光	遺伝子医療研究センター	教授	39年	
本田 秀夫	子どものこころ診療部	診療教授	28年	
小泉 知展	信州がんセンター	教授	31年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ①看護職の管理者（師長等）を対象に目標管理・評価に関する研修を実施 ・研修の期間・実施回数 ①5月、7月、9月、10月、1月に実施全11回 ・研修の参加人数 ①各回20～30名程度、1月の評価研修は54名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 がんのリハビリテーション研修会 ・研修の期間・実施回数 平成28年11月5日（土）～6日（日）・1回 ・研修の参加人数 72名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. <u>現状</u>
管理責任者氏名	病院長 本田 孝行
管理担当者氏名	副病院長 (事務担当) 辻谷 重宏 総務課長 内川 俊行 経営管理課長 常見 和彦 経営推進課長 三澤 剛 医事課長 丸山 政紀 医療支援課長 藪原 公德

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規 則 第 二 十 一 条 の 三 第 二 項 に 掲 げ る 事 項	病院日誌	電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。紙媒体の諸記録は、診療録管理室が管理する記録保管庫で管理している。また診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録管理要項」により禁止している。
		各科診療日誌	
		処方せん	
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規 則 第 二 十 一 条 の 三 第 三 項 に 掲 げ る 事 項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課
		高度の医療の研修の実績	医学部
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	掲 げ る 事 項 第 一 条 の 十 一 第 一 項 に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	経営管理課	
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課	
	第十号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課	
		第十一号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部
		職員研修の実施状況	総務課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 本田 孝行	
閲覧担当者氏名	副病院長（事務担当） 辻谷 重宏 総務課長 内川 俊行 経営管理課長 常見 和彦 経営推進課長 三澤 剛 医事課長 丸山 政紀 医療支援課長 藪原 公德	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要 閲覧希望者より申請があった際には、総務課にて記録を閲覧させている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年2月審査 平成26年5月評価の認定（更新）	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院や各診療部署にホームページを公開し、様々な情報を発信している。 地域住民などを対象とする市民公開講座や研修会を毎年開催している。 大学医学部に設置された地域保健推進センターと連携して、地域住民を対象とした研修や、啓発活動を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 信州がんセンターは、化学療法、放射線治療および緩和医療の専門医を終結し、集学的かつ臓器横断的ながん診療をおこなっている。また信州がんセンターが中心となって、月に1回がん診療に携わる各診療科医師や医療スタッフが参集しカンサーボードを実施している。 先端心臓血管病センターおよび呼吸器センターは、それぞれ内科、外科が連携して先端医療を提供している。 胸痛センターは、高度救命救急センターと心臓血管外科が連携して循環器救急医療を提供している。	

(様式第 8)

信大病総第 7082 号
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 信州大学長 濱田 州博 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

院内での研修実施予定は無し。

管理職員（病院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者）は、院外で開催される研修を必要に応じて受講する予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（8）名 ※
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名
うち薬剤師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（0）名
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名
※事務職員：専従 1 名、兼任 1 名を含む

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

専従薬剤師を、平成 30 年 4 月を目処に配置する予定である。